

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語（英語） 科目 英語コミュニケーションⅢ

教 科： 外国語（英語） 科 目： 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ FLEX English Communication Ⅲ ）

教科 外国語（英語） の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】英語の知識を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】話し手などの意図を理解したり、自分の考えなどを適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】主体性・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして知識を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	日常的・社会的な話題について、情報や考え、気持ちをなどを明確な理由や根拠とともに表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	異文化や外国語に対する理解を深め、周囲に配慮しながら、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	Lesson1 Potential Uses of Optical Illusions 【知識・技能】 前置詞を伴う関係代名詞、動名詞の意味上の主語、受け身の完了形、倒置、付帯状況のwithを理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した前置詞を伴う関係代名詞、動名詞の意味上の主語、受け身の完了形、倒置、付帯状況のwithを用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 視覚に関する錯覚が日常生活の多くの場面で使われていることを理解させる。 理解した錯視の種類をまとめさせる。 さまざまな錯視の利用法を書かせる。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	5
	Lesson2 Expanding World Population 【知識・技能】 形式主語itを用いた構文、受け身の過去完了形、接続詞asに関する事項を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した形式主語itを用いた構文、受け身の過去完了形、接続詞asに関する事項を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 人口増加によって引き起こされる問題と、選んだ SDGとの関連を理解する。 人口増加によって引き起こされた問題について、改善や解決するための方法を考え、クラスで発表する。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	Lesson3 What Makes a Hit Song? 【知識・技能】 英語の文の受動態の不定詞・受動態の進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した受動態の不定詞・受動態の進行形を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 多くの人が関心を持っているのは、曲の良さではなく、それに人気があるかどうかだという筆者の主張を理解させる。 自分の使ったソーシャルメディアに載っていたほかの人の意見に自分は影響を受けているかどうかを書く。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	8

2 学 期	Lesson4 Vias for Life 【知識・技能】 過去完了進行形，直接法，分詞構文に関する事項を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した過去完了進行形，直接法，分詞構文に関する事項を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 他人のために行動した偉人たちについて理解する。 感銘を受けた人物について原稿を作成し、発表する。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	Lesson5 How Have Butterflies Survived? 【知識・技能】 withの用法、受け身の進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解したwithの用法、受け身の進行形を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文+B13章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 甲虫に関するブログを読み、内容を理解させる。 4種類の甲虫のうち 1つを選び、情報を集め、特徴をまとめて書き、グループ内で情報を共有する。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	
2 学 期	Lesson6 Mr. Price Meets Jakuchu 【知識・技能】 倒置，関係副詞whenの省略，接続詞whenの用法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した倒置，関係副詞whenの省略，接続詞whenの用法を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 伊藤若冲とジョー・D・プライスの関係について理解させる。 若冲の作品について自分の意見を書かせる。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	
	Lesson7 Sustainable Lifestyle of the Edo Period 【知識・技能】 準否定語seldom，分詞構文（懸垂分詞），複合関係副詞whenever，if 節のない仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した準否定語seldom，分詞構文（懸垂分詞），複合関係副詞whenever，if 節のない仮定法を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 物が壊れたら捨てがちであるという現代の人間のあり方と、物を大切に修理し再利用する江戸時代の人々の生き方を比較して、江戸時代の人々の態度に学ぶことがないか考えさせる。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	
	定期考査			○	○		1

3 学 期	Lesson8 Why Do We Lie? 【知識・技能】 whether ～ or …, 関係詞節の二重限定, 重文のthat 節を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 whether ～ or …, 関係詞節の二重限定, 重文のthat 節を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 人がうそをつく目的を理解させる。 イラストの少年の立場になった場合の発言を、仮定法を使って英語で考える。 自分がついたことのある罪のないうそについて、説明する。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	8
	Lesson9 In Defence of Zoo 【知識・技能】 受け身の不定詞, 関係代名詞what, if節のない仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した受け身の不定詞, 関係代名詞what, if節のない仮定法を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 動物園に対する批判の焦点を理解させる。 動物園をめぐる論争における筆者の立場を理解させる。 その動物の 5つの自由の制限を改善, 解決するための方法を考え、クラスで発表する。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	Lesson10 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna 【知識・技能】 完了形の受け身の動名詞, 完了形の不定詞, 強調構文It ... that ～, (no matter+疑問詞 ～), 前の節の全体または一部を先行詞とするwhichを理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 理解した完了形の受け身の動名詞, 完了形の不定詞, 強調構文It ... that ～, (no matter+疑問詞 ～), 前の節の全体または一部を先行詞とするwhichを用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 今日のマグロ漁業が抱える問題を理解させる。 捕鯨問題に関するスライド・ポスターを作成し、スクリプトにまとめる。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	
Lesson11 A Brief History of Humans 【知識・技能】 仮定法過去を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考・判断・表現】 仮定法過去を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。また話題にあった文章を書いたり発表したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢で取り組む。	一人一台端末を活用する。 どのように人間が世界の統治者となり得たのかという筆者の問題意識を理解させる。 自分または家族や友人などの体験談を、物語の典型的な語り方の枠組みに沿って語る。	評価材料として下記の項目などについて評価（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）する。 ・活動の観察 ・音読テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシートの取り組み ・課題の提出	○	○	○	合計 47	
定期考査			○	○		1	